

2025年度

ニチキッズしろいし保育園 自己評価総括表

地域社会における保育施設として、その運営や保育内容について、自らの保育実践を振り返り、自己評価を行いましたので、その結果を以下の通り公表いたします。

また、本自己評価の結果を踏まえ、今後も更なる専門性の向上や保育実践の改善に努め、より一層質の高い保育の実践を目指してまいります。

評価方法		
保育士等（全職員）の自己評価	評価期間	2026年1月9日（金）～1月30日（金）
	実施方法	全職員に自己評価について趣旨を説明し自己評価を実施した。
保育施設の評価	評価日	2026年2月27日（金）
	実施方法	話し合いにより職場全体で共有し、保育施設の課題を明確化し、改善策を検討した。

項目ごとの評価	
保育理念	子どもたちが主体性に遊びに取り組み環境を整え、遊びの中から多くの学びへとつなげることができた。友だちとの関りや挑戦する姿も多くみられ、理念に沿った保育を実践できたと感じている。今後は、さらに一人ひとりが十分に遊び込める環境作りを工夫していきたい。
子どもの発達援助	一人ひとりの発達に応じた関りを意識し、安心して過ごせる環境作りに努めた。子どもの気持ちを受け止めながら援助することで、主体性に活動する姿や成長が見られた。今後も継続的な支援と職員間の連携を大切にしていきたい。
保護者に対する支援	日々の送迎時の対話や連絡帳を通して丁寧な情報共有に努め、保護者との信頼関係の構築を図った。子育ての悩みや不安に寄り添いながら、必要に応じて個別に相談の時間を設けるなど、安心して相談できる環境作りを心掛けた。今後も家庭との連携を深め、共に子どもの成長を支えていきたい。
保育を支える組織的基盤	職員間の連携と情報共有を図り、共通理解のもと保育を進めた。今後は、より安定した体制作りと役割分担の明確化に努めていきたい。

総評
本年度は、保育理念「思いっきり遊ぶ 思いっきり学ぶ」のもと、子ども一人ひとりの発達に寄り添いながら保育を実践してきた。子ども達の主体性や成長が多くみられた事は大きな成果である。また、年度後期に新たな職員が加わったことで体制が安定し、より安心・安全な保育環境を整えることができた。さらに、魚の解体ショーや神輿を制作して町内を練り歩くなどの新しい取り組みにも挑戦し、子ども達にとって貴重な体験の機会を広げることができた。一方で明らかになった課題については次年度へ繋げ、さらなる保育の質の向上を目指していきたい。

